

広島北特別支援学校と広島文教大学茶道部が、 茶道を通じてつながり、おもてなしの心を学習します。

広島北特別支援学校高等部普通科職業コースの生徒と広島文教大学茶道部の学生が、茶道を通して交流し、おもてなしの心や所作等を学習します。

本校は、今年度から日本文化を学びながら、さまざまな人々とつながる活動、『和みプロジェクト』を進めており、この活動はその一環となります。

生徒は、令和7年11月28日（金）に開催される学習発表会で披露するお点前に向け、大学生から茶道の基本的な所作や抹茶の点て方等の指導を受けます。

是非、生徒と大学生が茶道を通じてつながりを深めていく様子を取材してください。

1 日 時

令和7年11月21日（金）12：50～14：35

2 場 所

広島北特別支援学校 福祉室
（広島市安佐北区三入東一丁目25－1）

3 参加者

広島北特別支援学校高等部普通科職業コース 第2・3学年 生徒11名
広島文教大学茶道部 学生2名

4 指導を受ける内容

- ・ 基本的な所作（歩く、立つ・座る、お辞儀）
- ・ 抹茶の点て方、いただき方

5 前回（令和7年11月7日（金））の活動の様子



広島文教大学茶道部の活動を聞く生徒



茶道で扱う茶器の扱い方を教えてもらいました

